

## 九州地域におけるモホ面の深さ分布

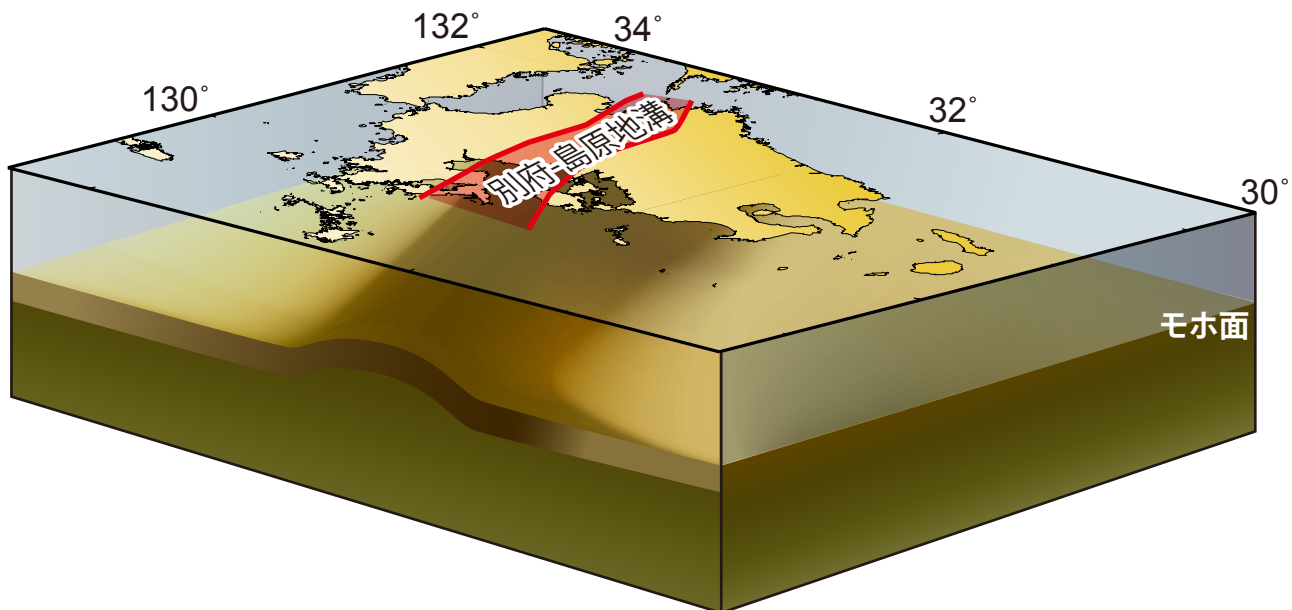


図8 (九州モホ面) レシーバ関数解析から求められた九州地域のモホ面の深度分布。九州中部の東北東-西南西方向に延びる領域のモホ面の深さが、周囲に比べて相対的に浅くなっていることが分かった。別府-島原地溝帯は、そのモホ面が浅くなる領域の中に存在する。

## 東北地方太平洋沖地震発生前のゆっくり滑り

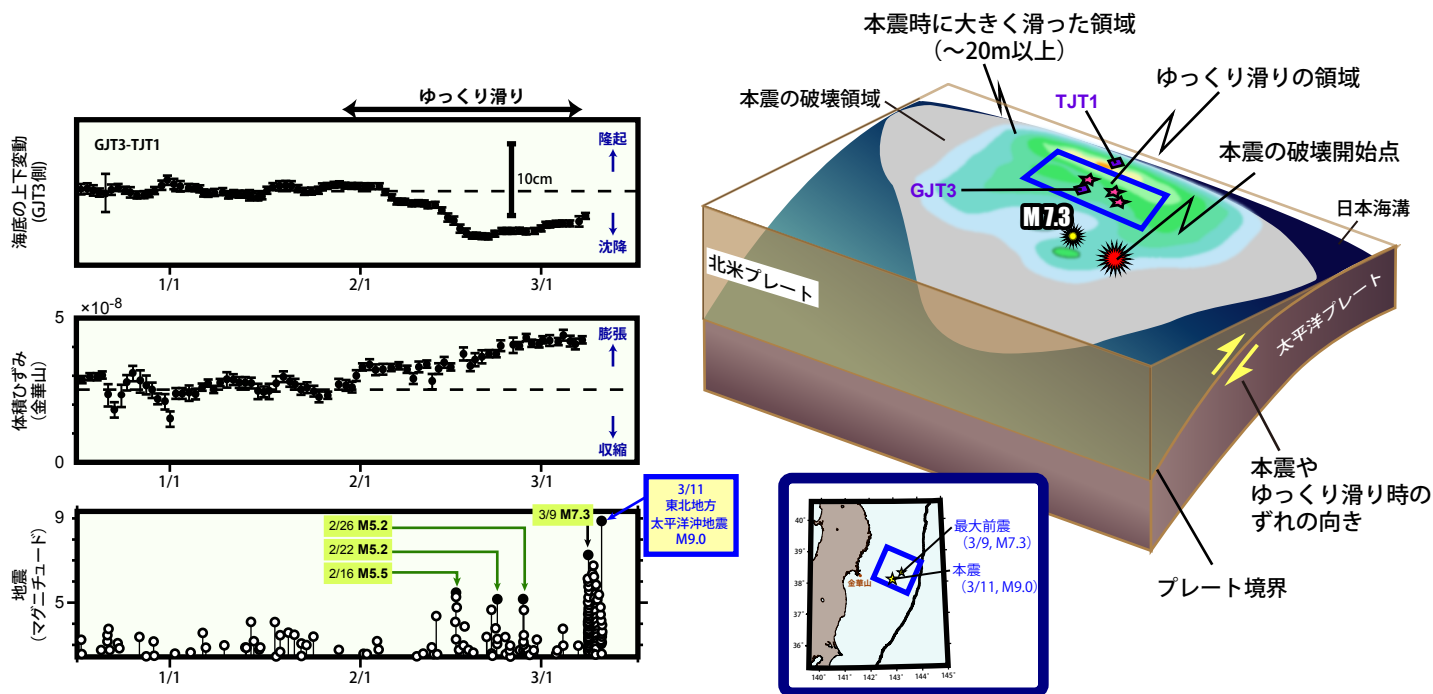


図9 (東北地方太平洋沖地震前駆のslow slip) 左図：上から順に、震源域直上に設置されていた海底圧力計により捉えられたゆっくり滑り (TJT1に対するGJT3の相対的な上下変動)、金華山で観測された体積ひずみ計の記録、地震発生の時系列。マグニチュード5以上を●で示す。右図：2011年東北地方太平洋沖地震の滑り分布、最大前震 (M7.3) とマグニチュード5以上の前震 (☆) の位置、及びゆっくり滑りの発生領域 (矩形 (くけい)) の概念図。小さい■は海底圧力計 (TJT1, GJT3) の位置